

第4回「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」 一人でも多くの仲間の参加を!

本日は時より、「希望の家」二階にて

テーマ「労災」を考える

釜ヶ崎のゆく仲間のみなさんよ

4回目の「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」のお知らせをします。

今回は前回の参加者の要望で「労災」をテーマに取りあげたいと思います。少し前までは「ケガと弁当は自分持ち」とよく言われました。最近でこそ、現場でのケガ、又通勤途上の事故もほとんど労災が適用されるようになりました。

しかし、土木、建築の仕事は今でも労災による死亡率が極めて高い職種です。又、越冬中、着カコしている人を見ても、以前現場でのケガで足腰を痛め、それが後遺症となって残ったり、数年してから再び痛み出して仕事ができなくなったりという例が多くあります。このような状態をなくしていくには、

現場でケガをした場合には業者に対して必ず労災として認めさせていくことが必要だと思っています。

同時に、現場でケガをして、ヘタにイキがってがまんをして仕事をすると、いろいろな我々自身の悪い風潮を改ためていかなければならないと思います。

仕事現場で雨が降った時によく冗談で、「雨の中で仕事をしてカゼをひいたら労災にしてくれるんか」と言いますが、冗談ではなく、本当に労災にさせる気持ちでかからないと、結局損をするのは、体だけが資本の我ら日雇だということになると思います。

そういう訳で、今回は「労災」を取り上げた訳ですが、特に、具体的な手続をどうすればよいかということ、「労災」にならない為にはどうするかということ、実際に労災にかかった

仲間の経験談を交えて、話していきたいと思います。

是非とも多くの仲間が参加して下さい。

一九八〇年八月七日

日(仮称)釜ヶ崎夜間学校

運営委員会 準備会

ふんわ 647-3946

(電話は毎週不旺日、夜7時半から10時の間にかけてください)

※「希望の家」への地図です。

